

▶会社の概要や特徴

近畿地域を拠点とする総合建設業。近年は公共土木工事にほぼ特化し、近畿地方整備局、兵庫県、大阪市、神戸市等を中心にあらゆる工種の土木工事の実績があります。近畿地整より2017年度に工事成績優秀企業の認定を受け現在まで継続して認定されています。

▶取り組んだ理由きっかけ

4週8休が業界における課題となっているなか、建設業界における喫緊の課題が人材不足であり、人材確保においては、週休二日の導入は必要不可欠である。既存の社員の働き方改革に繋がる制度でもあったので、積極的に導入することにしました。

▶実現による効果など

30年度工事において近畿地方整備局より「週休2日工事履行証明(ゴールド)」をいただいたのをはじめ、現在まで継続して達成現場があります。

週休2日を実現するために、施工において自社努力をすることが、施工管理においての高評価に繋がり、全体の施工評価が向上しました。

当社社員は地元在住者であり、休日の増加が直接プライベートの時間の増加となり、妻帯者を中心に喜びの声が聴かれました。

採用においてもセミナーの段階で関心度の増加を実感し、直近においては新規学卒採用及び中途採用に結びつきました。

▶4週8休実現へのプロセス

原則全現場4週8休を打ち出し、受注後の施工検討会において実現のための方策を現場担当者だけでなく、全社的に検討し、業者選定においても、施工能力を重視することで4週8休の実現の可能性を高めることにしました。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

課題1) 当社は河川工事の受注が多いので、工程は非常にタイトである。入札時から工事内容を把握し、落札から着工までのロスを出る限りなくすようにしました。
新技術等や二次製品の使用等、工期短縮に繋がるものを積極的に提案することとしました。

課題2) 協力業者等の日給者への対応
見積徴取時から、4週8休であることを伝え、経費等4週8休を踏まえた見積依頼を行っています。

▶独自の取組や工夫されてる点

入札時には当該工事の実行予算を作成し、業者編成も概ね決まった段階での入札となるよう、会社での準備を整え、落札時に現場担当者が速やかに工事着手できるようにしています。